氷見交友会館だより

2022（令和4）年　6月号　電話/FAX　0897-57-7248

「あいか」

おばあさんに会いに、ある男性が、自分の2人の子ども（園児）を連れて、高齢者福祉施設を訪れました。その男性、仮にベンケーシーとしましょう。ベンは、ホールを通り抜け、2人の子どもの手をひいて広い廊下を奥へと進みました。施設にいる皆さんが、子どもを見て「かわいいね。」と言いながら笑顔で歓迎してくれました。おばあさんのいる部屋に着き、中に入ると、2人の子どもは、落ち着きがなく、そわそわしていました。ベンは、子どものしぐさが気になり、数分で家に戻ることにしました。寂しそうな顔で見送るおばあさんに、「来週の水曜日にまた2人を連れてきますね。」と言いました。別れ際のおばあさんの顔が、ベンの心に焼き付き、これから毎週2回、水曜日と土曜日に子どもを連れて訪問しようと決めました。

次の水曜日、ベンは、2人の子どもを連れて訪問しました。おばあさんは、子どもを見ると、室内にあった冷蔵庫からYクルトを2本取り出し、子どもに渡しました。子どもは、にこにこしながらそれを飲み干し、おばあさんはそれを幸せそうに見ていました。おばあさんは、子どもに、おやつに出されるYクルトを残していたのです。ベンは、自分の決めた通り、週2回の訪問をし続けました。数か月たったある水曜日、おばあさんのところに行くことができないことがありました。土曜日に行くと、おばあさんは、冷蔵庫からYクルトを4本出し、2人の子どもに渡しました。子どもはとても喜んで、それを飲み干しました。訪問しなかったことについて、おばあさんが気にしている様子はありません。そうか、週に1回でもおばあさんは喜んでくれるのなら、土曜日だけでいいだろうと思い、水曜日に行くのを止めました。週に2回の訪問が1回になっても、おばあさんは、ベンたちの訪問を喜びました。1か月ほどしたある土曜日、訪問することができないことがありました。次の土曜日、ベンは、先週行かなかったから、今週も行かなくても、おばあさんは何も思わないだろうな、と思い訪問しませんでした。その次の週もそう思って、訪問しませんでした。訪問をしなくなって1か月足らずたったある日、その施設から家族に連絡があり、ベンにも知らせが届きました。ベンは、大急ぎで施設に行きましたが、すでにおばあさんは、そこにはいませんでした。おばあさんを担当していた人が、部屋にやってきて、こういいました。「〇〇さんは、あなたが子どもを連れてくることを本当に楽しみに待っていましたよ。その冷蔵庫を開ければ、あなたにもそのことが分かるはずです。」冷蔵庫を開けると、20本余りのYクルトが入っていました。

このとき、ベンは、初めて、しっかりと、おばあさんの目で自分を見、おばあさんの耳で自分の言ったことを聞き、おばあさんの心で自分のしたことを考えました。おばあさんが、どんな思いでYクルトを冷蔵庫に入れていたのか、待ちわびる日がどれだけ長かったか、そんなおばあさんの思いを断ち切っていた自分の罪は、とてつもなく深いものだと思い知らされました。自分の罪深さを忘れないことで、自分の考える向きを変えようと決め、人にもYクルトの教えを伝えていく任務を感じているのです、ベンケーシーは。

（館長）

～新刊図書のご案内～

おすすめの本を紹介します！
本は貸し出しもできます。

マンガでわかる！認知症の人が見ている世界

「どうして何度も同じことをいうの？」「どうして理由もなく歩き回るの？」不可解な行動も、その理由がわかれば介護も楽になります。認知症ケアの第一人者がひも解く、介護メソッドが書かれた１冊です。

ぼく　モグラ　キツネ　馬

ぼくがモグラ、キツネ、馬と順番に出会い旅をするお話。旅を続ける中で、ぼくが人生で悩んでいることを相談し、みんなで会話をしますが、その言葉のひとつひとつが心に響きます。圧巻のイラストとともに読むこの絵本は、コロナ禍で疲れた心の癒しとなるかもしれません。子どもから大人まで、幅広い世代におすすめの１冊です。

その他の新刊です！

◉そして、バトンは渡された　◉護られなかった者たちへ　◉老いの福袋　◉四国の水平運動
◉寂聴九十七歳の遺言　◉実用手話辞典　◉グーチョキパーのうた　◉セルフケアの道具箱
◉ぼくのお父さん　◉スカートはかなきゃダメですか？　◉ママがもうこの世界にいなくても
◉ふしぎ駄菓子屋銭天堂15・16　◉かいけつゾロリのゾワゾワゾクゾクようかいまつり
◉かいけつゾロリのきょうふのダンジョン　◉うた・たどりついて・うた

氷見交友会館
主催

６月開催の講座ご案内

第１回 健康教室

【日時】６月10日(金)　11:00 ～ 12:00
【演題】認知症予防と健康について
【講師】済生会西条病院　生活相談員･介護支援専門員
【会場】氷見交友会館　会議室
【定員】20名程度(要申込み･先着順)

第２回 人権･同和教育講演会

【日時】６月18日(土)　10:00 ～ 11:30
【演題】思いを繋(つな)ぐ
【講師】西条高等学校 講師　石田 伸一 さん
【会場】氷見交友会館　会議室
【定員】20名程度(要申込み･先着順)

お申込みが必要です。
お問合せ･お申込みは
氷見交友会館
(☎0897-57-7248)
までご連絡ください。
みなさんのご参加を
お待ちしております。

今日からできる認知症予防〝レッツ脳トレ！〟

～介護予防出前講座開催～

5月16日(月)に開催しました。西条市包括支援課(さいじょうしほうかつしえんか)の職員が来館し、認知症についてのお話や、認知症予防に良いとされる〝脳トレ〟を、楽しみながら実施しました。思い出す（日記を書く）、計画を立てる（旅行、将棋(しょうぎ)）、いくつかのことを同時に行う（料理、ながら運動）ことは、脳にとてもいい刺激になるそうです。今は、スマートフォンやタブレットなどが普及(ふきゅう)し、わからないことはすぐに調べて答えがでてしまいますが、便利なものにすぐに頼るのではなく、まずはじっくりと〝考えること〟で脳に刺激を与え、脳を鍛(きた)えていきましょう。

6月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 絵手紙教室 13:30～15:30	2	3 石鎚クラブ 13:30～15:00	4 休館日
5 休館日	6 生き生き健康体操 13:00～ 歌謡教室 13:30～15:30 楽書教室 13:00～16:00	7	8 ひまわり会 10:00～11:30	9 茶道教室 13:30～15:30	10 人権を考える日 書道教室 9:00～11:00 **第１回健康教室** **11:00～12:00** 石鎚クラブ 13:30～15:00 華道教室 14:00～16:00	11 休館日
12 休館日 きずなの会(旧老友会) 10:00～	13	14 健康管理巡回相談 10:00～12:00 裂織サークル 13:00～16:00	15 ヨガ教室 13:30～15:00 絵手紙教室 13:30～15:30	16	17 石鎚クラブ 13:30～15:00	18 午後休館 第２回人権・同和教育講演会 **10:00～11:30**
19 休館日	20 歌謡教室 13:00～15:00 楽書教室 13:00～16:00	21 ふれあい喫茶 13:30～15:00	22 ひまわり会 10:00～11:30	23 茶道教室 13:30～15:30	24 書道教室 9:00～12:00 石鎚クラブ 13:30～15:00 華道教室 14:00～16:00	25 休館日
26 休館日 高齢者慰労会 10:00～	27	28 裂織サークル 13:00～16:00	29	30		

※来館の際は、事前の検温、不織布相当のマスク着用と入り口での消毒をお願いしております。また、発熱、発熱がなくても体調の悪い方は、入館をご遠慮ください。ご協力をお願いします。
感染症拡大防止対策により臨時休館となる場合、その間予定していた行事や講座はできなくなります。

西条市氷見交友会館

住　所：〒793-0072 西条市氷見乙1722番地
TEL･FAX：0897－57－7248
Eメール：himikoyukaikan@saijo-city.jp
開館時間：9:00～17:00（月～金）

※ 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始は閉館しています。

氷見交友会館では、人権、福祉、健康、職業、生活、教育等の各種相談事業を随時行っています。電話、訪問での相談にも対応いたします。

お気軽にご相談ください